

第14回アスリートワールド学童野球教室（令和元年12月1日）



12月1日、「京都スポーツの殿堂」入りされている元阪神タイガースの桧山進次郎氏，中日ドラゴンズコーチの波留敏夫氏が中心となり，学童野球チームの子どもたちに，野球の技術，知識だけでなく，楽しさや夢，感動を与える第14回アスリートワールド学童野球教室を，わかさスタジアム京都で開催しました。

地元少年野球の約20チームから児童600名以上が参加し，総勢20名の現役プロ野球選手・OB選手から，投球，守備，打撃，走塁など各パートに分かれ，熱心な指導を受けました。

元外野手の桧山さんからは，「フライの捕球は胸を正面に」などエラーを防ぐコツや，「ゴロは体勢を十分整えてから送球を」など基本的な外野守備について，また，打撃コーチの波留さんからの「どうすれば遠くにボールを飛ばせるのか？」の質問に，児童は思い思いに答えた後，「腕の力だけでなく，しっかりと腰を回してバットの芯にコンタクトすること」と，打撃の基本が伝授されました。また，元読売ジャイアンツの岡島秀樹氏（同年12月25日に「京都スポーツの殿堂」入り）が，投球フォームのアドバイスやフリーバッティングのトスを行い，真剣な表情でボールに向き合う子どもたちの姿が印象的でした。

実技指導の後，プロのデモンストレーションに登場した中日ドラゴンズの大野雄大投手（同シーズンにノーヒットノーランを達成，京都府出身）の剛速球が会場を大いに沸かせたほか，アスリートとの野球対決，記念撮影も行われ，参加した児童たちにとって，プロ野球選手への夢を大きく膨らませる貴重な1日となりました。